

播磨町全教職員研修会 未来成績を上げる本当の4技能

▶問合せ 学校教育グループ ☎079(435)0545

8月24日に、平成30年度全教職員研修会が開催されました。
淳和学園（岡山龍谷高校）専務理事、武蔵野大学客員教授を歴任されている中村好孝先生を講師に
迎え、「未来成績を上げる本当の4技能」と題してご講演いただきました。

中村先生は、小学校教諭、予備校講師、高等学校教諭を経て、淳和学園に勤務し全国最年少で専務理事に就任されました。人口5万人の市で志願者約5倍、偏差値プラス20以上上昇させ続けている手腕は、全国的にも高い評価を得られています。約2時間の講演があつという間に感じられ、とても有意義な時間となりました。その講演内容の一部をご紹介します。

これからの世界には どんな力が必要なのか

私たちは、グローバル化など価値が多様化している社会の中で、その価値に対応し、その価値を共有化することが大切です。
そんなグローバル社会をわたつていくには、まず一つ目には、失敗を恐れないこと、次に、チャレンジすることをお忘れなさい。

「更新」していかねばいけません。そして、それにいたるエビデンス（証拠・根拠）が必要不可欠です。

教師として 人として

（1）こんな時、あなたはどうか考えますか。例えば…あなたは靴の営業マンです。ある日、外国へ営業に行くことになりました。飛行機から降り立ったところは…そこは、はたして過ごす民族の国でした。

① まったく靴は売れないなあ
② ここなら、たくさん靴を販売できそうだが
③ もし、あなたなら…人生が残り1時間で、たった1本の電話しかかけられないとしたら、誰に何の話をしますか…
中村先生からの2つの問いかけを参加者一人ひとりが教師として、人として考えてみました。
何でもWelcome。まずは、やってみる。適当に生きていてはいけない。今、やれることはやった方がいい。この姿勢を子どもたちにも伝えていく必要がある。

4技能とは

- 1、読み書き
- 2、新そるばん
処理・選択能力をつけることとして、読解力・処理能力がとも重要です。
- 3、クイックプレゼン
すぐに対応したり、反応したりすることを苦手としている人が多いため、発信と修正能力を備えておくことは大切です。
- 4、4つの「あ」
① あたらしい

講演会参加の教職員の感想より

◆「日々褒めることって難しいと感じていましたが、価値ある価値を認めることを意識しながら、子どもたちと関わっていききたいです。」「今」を大切にしていこうと思いました。」
◆「今しかない」という意識を常に持ち、良いことはすぐにやってみようとする気持ちを大切にしようと思えます。あきらめないことも大切ですが、今ある自分や周りの人の価値観を認めながら過「していききたい」と思っていました。「何のために必要か」を考えて子どもたちに接していききたいです。」

◆「今からなにかできるのではないかと考える講演会でした。いつからか失敗をしない、迷惑をかけないような行動など、自分の本心ではない行動をしていたのかもしれない。子どもたちに本気で取り組む姿勢などを見ることが自分の成長、子どもへの成長につながると思いました。」
◆ 視野を広く持ち、アンテナを高く、深みのある人間でいることが大切だと感じました。

◆最後の「大人の世界の楽しさ、伝えられていきますか?」という言葉で嬉しさを味わえていなかったんじやないかと感じました。大事なことを伝えられていないんじゃないかと。笑顔で笑顔を育てたいです。」

◆子どもたちがなりたいと思う大人に自分になりたいと思いました。
◆子どもが大人になりたい!と思えるような仕事をし、一人の大人として「4つのあ」を忘れずに生きていきたいと思えます。教師としてだけでなく、人として多くを学ぶことができたい講演会でした。」

◆大変感動させていただきました。とてもいい涙を流させていただきました。日常の今ある生活、環境、周りの方にもう一度、感謝することのできる時間となりました。再度、新たな意識をアップデートし、明日からの教員生活に生かしていきたいと思えます。」

◆元気をいただきました。パワーをいただきました。明日から一日を大切に、子どもたちとがんばります。」

◆播磨町全教職員研修会で、研修を深めることができました。これからも子どもたち一人ひとりのために、子どもたちに寄り添いながら学校教育を進めていきます。さらに、学校と地域、そして家庭が連携することで播磨町の子どもたちをより一層すてきに輝かせていきたいものです。」

見方と味方が変われば人は劇的に変化する。
**最後に…
「大人が笑えば日本が笑う」**
「大きくなりたい」「すてきな大人になりたい」と理想を持っている子どもたちは多いです。そんな、子どもたちと一緒に暮らしている私たちは大人として、大人を楽しんでいますか? 私たち大人とこれから一緒にがんばろうよ。私たちのような大人になってほしい!なってもらいたい!と言える大人になりましょう。 私たちは、教師として、人として、「大人つてすてき」を、子どもたちに伝えていくことが大切です。」

毎日1%ずつがんばる人と1%ずつサボる人の未来には、次のように1年間365日で大きな違いが現われてきます。
1%ずつがんばる人 ……1・01の365乗
1%ずつサボる人 ……0・99の365乗
つまり、努力し続けることで大きな力を発揮することができます。
④ありがとうございます



ちゃんと靴をそろえることを習得させよ
つとすると「靴をそろえる」→できたときに評価する・褒める→頭の中でこの価値を覚えさせる→この価値を自分の大切な価値としていく「これを何度も繰り返すことによって、その子どもにとつて「靴をそろえる」という正しい価値を心地よい価値として学習させます。この方法なら、何かを学習、鍛えようとすると、いつからでも何歳からでもできます。」